NICU留学記

2009年3月より，神奈川県立こども医療センター新生児科では全国の若手医師を対象とした「新生児医療のための短期有給研修医制度」をスタートさせました．本コーナーでは，この研修に参加した若手医師の奮闘の様子を紹介します．

留学生：中島一恵
群馬県立小児医療センター
→神奈川県立こども医療センター

研修期間：2009年7月1日～2009年9月25日

第3回：百聞は一見に如かず！

9月に入り，いよいよ研修も残りわずかとなりました．相変わらず重症の赤ちゃんたちの入院は続いていました．そんな中でも空いた時間を利用して，豊島先生や大山先生がミニレクチャーをしてくださいました．ミニレクチャーといっても，学会の教育講演のような内容の濃いもので，知識の整理に役立ちました．

9月21日（日曜日）は病棟業務を早々に片付けてレジデント軍団と横浜スタジアムへ向かいました．NICU卒業生のご家族である横浜ベイスターズの村田修一選手が，「第2回NICU応援企画」でNICU卒業生やその家族，NICUスタッフの総勢120名を野球観戦に招待してくださったのです．私たちはボランティアスタッフとして参加させていただきましたが，短期研修第1号の旭中央病院の川戸先生をはじめ，他のNICU施設の医師・看護師さんも参加してくださいました．その日は晴天にも恵まれ，横浜ベイスターズが快勝‼　途中で具合が悪くなった参加者もなく，無事に終了することができました．病院を離れて，NICUで育ったお子さんやご家族，医療者が一緒になって明るい陽の下で野球を楽しむ1日を過ごせたことは，良い思い出になりました．

最後になりますが，神奈川県立こども医療センターでの短期研修を終えて，「百聞は一見に如かず」という言葉を痛感しました．3カ月という期間を短く思うか長く思うかは，研修する人次第ですが，目的意識を持てば十分に学ぶことができる期間だと思います．そして著名な先生方に直にご指導いただけたこと，また全国各地から集まった同世代のレジデントの先生たちと交流できたことは，私にとってかけがえのない経験になりました．短期研修医制度を立ち上げてくださった豊島先生，受け入れてくださったスタッフの先生方や看護師の皆様，研修に出してくださった群馬の医局の先生方に感謝の意を抱きつつ，この経験を今後の医療に役立てていきたいと思います．

（了）

●留学記録　「NICU応援企画」で患者さんたちと一緒に野球観戦を楽しみました（横浜スタジアムにて）．